



長井ロータリークラブ会長	大山友規憲	第2800地区ガバナー	大久保章宏
幹事	土屋茂樹	第6ブロックガバナー補佐	味田琢哉
例会日	毎週火曜日 12:15~13:15	例会場	タスパークホテル TEL0238-88-1833
事務局	長井商工会議所内 TEL0238-83-2047	URL	http://www.nagai-rc.jp
E-mail	info@nagai-rc.jp	会報委員	塚田弘一 寒河江良一 横澤寿彦

【2月・特別月間】平和と紛争予防/紛争解決月間

例会報告 No.25 (通算 第2816回) 2020年(令和2年)2月25日(火)号

■ロータリーソング : 我らの生業

■ゲスト紹介 :

長井市長
内谷重治氏

■会長の時間(挨拶・報告): 大山友規憲会長



本日は長井市長内谷重治様をお迎えしてのゲスト例会となっております。市役所を含めた整備事業や今後の長井市の展望等についてお話頂けるものと思います。

話は変わりますが、ここ最近のニュースやネットでの情報等を見ても、新型コロナウイルスの事がさかんに取沙汰されています。最初の内は対岸の火事のような感覚で取り扱われていましたが、ここ数日の話題では、日本もかなり危ないという報道がなされています。幸いにも山形県では今の所発症者は出ていないようですが、これもどうなるか見当もつきません。解っているのは不必要な外出は控えて、人との濃厚な接触は避け、人ごみに行かないようにするくらいでしょうか。ロータリーとしても、様々な会合があるわけですので、どのような対応をとるべきか話し合う必要が出るかもしれません。横

澤理事からも例会場での考慮すべき点等もメールで頂きましたので検討していきたいと思っております。又本日お越し頂いております内谷市長からも集会などでの長井市としての考え方などございましたらご披露頂ければ幸いです。何事も無く無駄な心配であります事を祈念して挨拶と致します。

■幹事報告: 土屋茂樹幹事

1. 2800地区 大久保章宏ガバナーより

海外への渡航ならびに海外からの受入に関するお願いの文書が届いています。

- 2800地区としても海外への渡航ならびに受入が必要な行事を、事態が収束するまで自粛します。各クラブにおいても慎重な判断頂き、やむを得ず行う際は各クラブの責任において実施してください。なお、地区の通常行事については予定通り実施します。

2. 日台RC親善会議福岡大会実行委員長より

第7回日台RC親善会議福岡大会の開催延期のお知らせとお詫びの文書が届いています。



- 3. 福島北 RC より 「JRA 福島競馬場」 移動例会のご案内が届きました。
日時 令和2年4月18日(土) 開会 12時00分 場所 JRA 福島競馬場 出欠の確認を回覧します。
- 4. 置賜さくら回廊観光推進会議様より
会議資料が届きました。回覧いたしますので、お目通しお願いいたします。

(第14回臨時理事会報告) 新入会員の氏名公開について 承認

■委員会報告：

- 1. PETS・R 財団研修出席報告について： 伊藤克也会長エレクト
次年度 RI および地区のテーマ他後日報告
- 2. 氏名公開について ： 氏名一河井智寛氏（河井葡萄苗圃）
- 3. 60周年実行委員会開催： 尾形和夫実行委員長
2月25日(火) PM6:30 きらく



■ニコニコ BOX： 寒河江良一委員

- 大山友規憲会長 内谷市長を歓迎して
- 村田 剛会員 内谷市長を歓迎して
- 小笠原信吾会員 長井市長を歓迎いたしまして
- 斎藤喜内 内谷市長を歓迎して
- 中島 浩 内谷市長を歓迎して
- 横澤寿彦 内谷市長を歓迎して



■出席報告： 遠藤伴明委員長

本日の会員数 24 名、全出席者数 20 名で出席率は 83.33%です。

(ゲスト卓話)

令和2年2月25日(火)
長井ロータリークラブ例会 講話資料



目次
 新年のごあいさつ・・・1
 “魅力あるまち長井”への新たななるチャレンジ・・・3



○新年度予算 — 20,756,000 千円 過去最高
 市庁舎の前倒し（熊本地震による震災補助金対応）建設し等による



長井市の公共施設整備計画

- ・長井市民文化会館
令和2年7月 完成
- ・長井市学校給食調理場
令和3年2月 完成
- ・長井市新庁舎
令和3年3月 完成
- ・公立置賜長井病院
令和4年4月 プレオープン

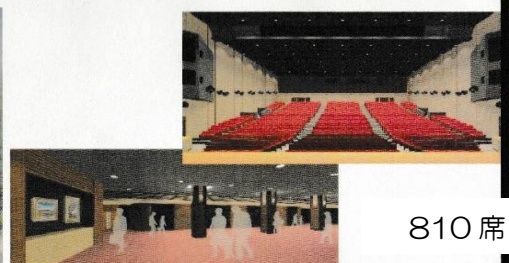
長井市学校給食共同調理場 13 億 PFI 方式 アレルギー食対応



公立置賜長井病院 35 億前後 6 階建⇒3 階建物 （解体 建設 機器）



長井市新庁舎 54 億 H25-26 集中豪雨でハザードマップ（3m）変更で現地に 防災機能有



長井市民文化会館

810 席

○上記他 都市機能整備

- ・本町街路事業は R3 年終了
- ・駅前通り（調査費がつき国補助金で整備）
- ・グンゼ通り歩道、労金通りの延長
- ・駅前整備（4 か所移転）
- ・R3 年 図書館、子育て世代支援センター

今と未来をつなぐ

昨年は新しい令和の時代がスタートしました。長井市においても市政執行65年目の節目を迎え、「長井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」等に基づき「教育・子育て」を柱に「移住・定住・交流」「雇用・働く場」「まちづくり・地域づくり」の好循環を創り出し、特に、本市の未来を担う子ども達や子育て世代にとって魅力あるまちづくりを目指し、「長井創生」をさらに加速させてまいりました。

超少子高齢化や若者流出など人口減少が進む中、持続可能な地域社会をどのように創っていくかが最大の課題です。今後20年で人口の約3割が減少すると予測されている中で、長井市では人口減少に歯止めをかけるため、「子育て世代の定着」に向けた様々な取り組みを行い、長井創生に全力で邁進してきました。

今年も市民の皆様とともに、力を合せて希望あるまちづくりを進めてまいっている所存でありますので、皆様の一層のご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

持続可能なまちを目指して

持続可能なまちづくりのため、長井市では、長井市第五次総合計画後期計画を策定し、長井の未来を創る3つの重点戦略を掲げ長井創生の取り組みを進めています。



市民が市民の健康を促進するために、ウォーキング教室や健康教室などを実施しています。

1. 世界へ挑戦できる子どもが育つ！ 長井の子育て魅力UP戦略

- ・子育て世代活動支援センター（公共複合施設）の整備
- ・保育施設整備や保育士の確保
- ・幼少期からの読み聞かせや学校における音読などの取り組み
- ・インターネットを活用したマンツーマン英会話、プログラミング活動など

2. 便利で快適に暮らせる！ 長井のまちなか魅力UP戦略

- ・市役所庁舎の建設
- ・長井駅周辺への公共複合施設の整備や民間商業施設の立地促進
- ・商店街の空き店舗などの活用促進
- ・道の駅などを活用した情報発信
- ・市営バスの運行形態の見直しなど

3. 豊かな暮らしを実現できる！ 長井で働く魅力UP戦略

- ・ものづくり産業や6次産業化の推進と新規就農者の確保・定着
- ・インキュベーション機能の提供
- ・近隣市町との連携による観光地域づくり
- ・宅地分譲や定住促進住宅の施設改善、住宅取得・増改築への支援

長井創生 新たなステージへ！

現在、長井創生会議において市内外の有権者からご意見をいただきながら第2期「長井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(以下、第2期総合戦略)の策定作業を進めています。第2期総合戦略は、令和2年度から5年間の長井創生の取り組みを示すものであり、第1期の基本方針に加え、新たな視点として3つの「未来への取組」を掲げ、新たな時代に対応できるまちづくりを目指します。



第2期 長井市まち・ひと・しごと創生総合戦略 [概要版]



未来を担う人材を育てる！
“career making”の推進

地域産業の担い手となる若い世代が定着するためには、子どもの頃から本市の仕事に触れ、職業について学んでいくことが大切です。そのため、学校教育にとどまらないキャリア教育を推進していく必要があります。本市産業の魅力を発信し、子ども達の職業意識を醸成する取り組みを行うとともに、職業形態の多様化が見込まれる新たな時代に対応するため、やりたい職業に就くだけでなく仕事を自ら生み出す力も養っていきけるよう、起業にチャレンジする精神を持った人材を育てていきます。

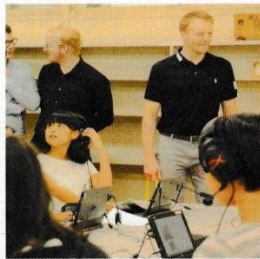
未来の新技术をフル活用！

「society(ソサエティ)5.0」とは、AI(人工知能)やロボットなどの先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、「必要なモノ・サービスを必要な時に必要なだけ提供すること」により、人手不足などの社会的課題の解決と経済発展を両立させる取り組みとして、全国的に注目を集めています。

本市においても、引き続き見込まれる人口減少に対応できる社会づくりとして、ソサエティ5.0の実現に向けた取り組みが必要になります。ソサエティ5.0を実現するためにはAIやIoT(モノのインターネット)といった最先端のデジタル技術や、5Gなどの最新の通信技術の活用が不可欠です。これらの未来技術を行政でも民間でも活用していくこととする機運づくりと、実際に活用できる場となる環境づくりに努めていき、未来技術によってもたらされる

豊かさを実感できる取り組みを展開していきます。
未来を豊かにする人生100年時代！
“QOLの向上”

将来のこの国は長寿社会がさらに進展し、寿命が100年を超えることも見込まれています。長い人生をより充実させるため、国において「人生100年時代」を視野に入れた取り組みが提言されています。特に本市においては、喫緊の課題である高齢者世代の割合のさらなる増加に対応していかねばなりません。免許返納などによって交通手段が限られてしまう高齢者が増加し、公共交通（フラワー長井線と市営バス）のニーズが高まることが予想されるため、市民にとって便利に利用しやすい環境づくりを図ります。また、芸術文化の振興やスポーツを通じた市民の健康促進に積極的に取り組んでいきます。これらによって生活の質「QOL(クオリティ・オブ・ライフ)」の向上に努めてまいります。



▲マンツーマンのウェビ会議システムによる英語指導など、世界を育成します。



▲プログラミング教室などの体験学習によりものづくりの精神を養います。

- 若い人を地方に留まらせれば人口減少に繋がるが、若い人がつきたい職業が少ない。
- ソサエティ 5.0⇒未来の新技术をフル活用し人口減少に対応できる社会づくり
AI IOT 5G ロボット等

平成31年4月10日
未来技術×地方創生検討会
総務省提出資料抜粋

第5世代移動通信システム(5G)とは

<5Gの主要性能> 超高速 最高伝送速度 10Gbps
超低遅延 1ミリ秒程度の遅延
多数同時接続 100万台/km²の接続機器数

5Gは、AI/IoT時代のICT基盤

低遅延

移動体無線技術の高速・大容量化路線
2G 3G 4G 5G

同時接続

超高速
現在の移動通信システムより100倍速いブロードバンドサービスを提供
⇒ 2時間の映画を3秒でダウンロード(LTEは5分)

超低遅延
利用者が遅延(タイムラグ)を意識することなく、リアルタイムに遠隔地のロボット等を操作・制御
⇒ ロボット等の精緻な操作(LTEの10倍の精度)をリアルタイム通信で実現

多数同時接続
スマホ、PCをはじめ、身の周りのあらゆる機器がネットに接続
⇒ 自宅部屋内の約100個の端末・センサーがネットに接続(LTEではスマホ、PCなど数個)

社会的なインパクト大

(5G=スマホ動画インソールが300秒⇒3秒へ 100倍高速通信)

- 最先端知識者を長井に週2日派遣(内閣府で全国31か所、東北で長井、福島、十和田)
- 5G区割りは数年先であるが、ローカル5G(例 タス、市役所、工業団地、学校等)に手をあげている。
- パラレルワーク=兼業 事業者の働く場を提供。(旧長井小)
- 100年時代をどう生きるか。QOL向上にスポーツジム、フィットネス等。

